

日本コンクリート工学会四国支部
鉄筋コンクリート造耐震壁の開口の取り扱いに関する研究委員会
設立概要報告

1. はじめに

平成22年2月、「日本建築学会鉄筋コンクリート構造計算基準・同解説」が改訂され、耐震壁の開口による低減に関する考え方が大幅に改正された。また、開口付き耐震壁の耐力に関しても様々な実験的研究が進められている。耐震壁の開口の取り扱い方は構造設計においても、耐震診断においても耐震補強においても重要な関心事である。

そこで本研究委員会では、各所で行われている最先端の研究事例について講師を招いて調査を行うとともに、会員相互に検討事例を持ち寄り、四国に適した開口の取り扱いについて検討を行う。さらに、成果を講演会の形で、公表することにより、広く一般に普及させる。

2. 活動の方針

本研究委員会は以下の活動を行い、最終的に各検討結果の成果をまとめる。

(1) 既往の研究結果に関する勉強会の開催

既往の各所の研究内容について、専門とする講師を招き、結論に至る詳細について紹介してもらおうと共に、講師を交えた議論を通じて、開口の取り扱いに関する理解を深める。

(2) 身近な検討事例の研究会の開催

四国で実際に行われている構造設計、耐震診断の事例を持ち寄り、モデル化による設計結果や診断結果の変動について、調査を行い、今後の取り扱い方に関わる知見を得る。

(3) 普及のための講演会の開催

研究委員会の調査・研究内容を広く四国の会員・非会員に知ってもらうために、講演会を開催し、耐震壁の取り扱いに関する最先端の動向を共有する。

3. 委員会構成

	氏名	所属
委員長	甲斐 芳郎	高知工科大学
幹事長		
オブザーバー		

(以上)